



NPO PTPL “ともいき” 便り No. 179

平成 31 年（2019 年）9 月 23 日発行

■秋分（しゅうぶん） 9 月 23 日から 10 月 7 日までの節気

「暑さ寒さも彼岸まで」と言いますが、ようやく涼しくなってきました。我が家の 18 歳のしば犬まるも、お陰様で暑さを乗り越えることができました。9 月 23 日は二十四節気の「秋分」です。暑さもおさまり、実りの秋を迎えるころ。そして秋のお彼岸の中日でもあります。秋分には日の出から日没までの昼と、日没から日の出までの夜の長さが同じで、これを昼夜平分といいます。この日は太陽は朝、真東から昇り、夕方真西に沈みます。その沈んだ方角に極楽浄土があるとされているのでお墓参りをして亡くなった人の来世における安楽を祈ります。（<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2019/ともいき暦より>）

お彼岸といえば、彼岸花。真っ赤な彼岸花が群れて咲いている様子はちょっと怖い感じがします。別に墓地にだけ咲くわけではないのですが、なぜかお墓とセットのイメージがあります。でもよく見ると、すらっとした茎に華やかな花が花火のように咲いていてきれいです。彼岸花とは対象的に地味なのは萩の花。無口で静かに咲いているイメージです。先日、5 歳ぐらいの男の子が二人、萩の葉っぱのおいしさを嗅いで、「すごくいい匂い」「ほんとだ」と言い合っていました。その子たちがいなくなってから、私も萩の葉の匂いをかいてみました。でも、無臭。不思議。萩の葉は純粋な人にしか匂ってくれないのでしょうか。友人が長野県の上田に遊びに行って、コスモス畑の写真をラインで送ってくれました。秋だなあとしみじみ思いました。キンモクセイの香りがしてくるのは、いつでしょう。楽しみです。

台風で千葉が大きな被害を受けています。私の友人も千葉で幼稚園を運営しています。心配で恐る恐るラインをしてみたら、通じました。幸い友人の幼稚園は電気は無事だったそうです。水は出なくなったのですが井戸水に切り替えて、台風の翌日から園を開けたそうです。卒園生で小学生、中学生になった子

たちも学校が休みなので大勢遊びにきたそうです。近所の人に炊き出しもしたそうです。「幼稚園も災害時の緊急避難場所として考えないといけないわ」と言っていました。被害のひどいところでは、盗みや詐欺も横行していると聞きました。困っている人たちを助けようとする人もいれば、弱みにつけ込んで悪さを働く人もいるのですね。日本人は圧倒的に前者の人たちが多いと信じていましたが、あまり自信がなくなってきました。一日も早く日常が戻りますように。

9月30日は紅葉の見ごろ予想発表日です。各地の観光協会や民間気象情報会社などが「紅葉の見頃予想」をこの時季に発表します。私は来月中旬に京都に行く予定なのですが、見頃には早いかもしれませんね。紅葉チェックは家の近くの公園や街中の街路樹でもできます。木々の葉の色が変わっていくと景色も柔らかく優しくなるような気がします。

10月6日（日）は上弦の月です。上弦の月は、夜中に西に沈み、昼に東から昇ってきますが回りが明るいので気付く人はあまりいません。でも空気の澄んだ秋の日には、昼すぎに東の空に昇ってきたばかりの上弦の月を見ることが出来ます。昼間に空を見上げてみてください。

これから急に寒くなってきます。夏の疲れも出てくるころです。皆さま、くれぐれもご自愛ください。

すとう あさえ (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 会員)

■ともいき・ともうみ・ともさち、そして和。それは日本的なるもの「ジャパネスク」

●二至二分と四立。

昔から四季を区分するのに、太陽の照らし方の特別な日を目印にしました。

人びとが一番早く気づいた「特別な日」は二至二分（にしにぶん）だったと思われまふ。二至は最も昼間の短い冬至（黄径 270 度）と最も昼間の長い夏至（黄径 90 度）、二分は昼夜平分の春分（黄径 0 度）と秋分（黄径 180 度）です。

東洋の暦では春分を春の中央、夏至を夏の中央、秋分を秋の中央、冬至を冬の中央というように、二至二分を四季の中央にもってきています。

すると四季の境目は隣り合う二至二分の中間にくるようになります。これが立春（黄径 315 度）、立夏（黄径 45 度）、立秋（黄径 135 度）、立冬（黄径 225 度）の四立（よんりつ）です。

四立は季節の始点であり、その前日が季節を分ける「節分」です。従って「節分」は年に 4 回あったのですが、今は冬と春を分ける立春前日だけが「節分」として残っています。

「節分」は近づく農耕の季節を前にして新しい年の豊作を予祝する「春の行事」だったのです。

暦の立春は、まだ厳寒の北風の中に「春の光」を、立夏はまだ冷涼な大気中を横切る「真夏なみの光」を、立秋は暑さの盛りの中で光が「僅かに衰えたきざし」を、立冬は収穫の終わった野を照らす柔らかな「初冬の光」を見る日なのでしょう。

- 人與人、人と自然の豊かなコミュニケーション。
人への、自然への、思いやり、いたわり、やさしのあふる社会。
- 共に生きる「ともいき」という自然観・生命観。
共に生み出す「ともうみ」という生産力・創造力。
共に幸に生る「ともさち」という倫理観・価値観
共に和む、人も生きとし生けるものも共に和む「和」の精神。

日本 2019 ジャパネスク

日本の歴史を学ぼう。

「もっと知りたい。これが日本、これも日本。」

勝田 祥三 (NPOPTPL 理事長)

■事務局便り

● 厳しい暑さからは、だいぶ楽になった感がある今日この頃です。台風 15 号が千葉県を中心に甚大な被害を起こしました。一刻も早い復旧を望みます。秋の彼岸にかけ、また台風が日本に接近します。皆様、くれぐれもご用心と対策を……。

● 日本というものを基盤において活動する NPO PTPL が企画制作運営するサイト・FB をご覧ください。

「NPO PTPL 公式ホームページ」：<http://www.plantatree.gr.jp/>

「ジャパネスク」：<http://www.japanesque.tokyo/>

「ともいき暦」：<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/>

「タピラス」：<http://www.tapirus.tv/>

「ともいき ぐらし」：<https://www.facebook.com/tomoikigurashi>

「おらが富士 計画 ふるさと富士山探し」

<https://www.facebook.com/oragafuji/>

「不思議・驚き・魅力のジャパネスク」

<https://www.facebook.com/japanesque.tokyo/>

● 会員募集のご案内

NPO 活動（ジャパネスク運動）を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPL では、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。お力添えのほど、どうぞよろしく申し上げます。

詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAX にてお尋ねください。

NPO PLANT A TREE PALNT LOVE 事務局

〒141-0022 東京都品川区東五反田 2-7-11 東都ビル 201 号

電話：03-6432-5911 FAX：03-6432-5912 Email：info@ptpl.or.jp

